

わたしから始める、世界が変わる

# Hunger Zero News

2021. No.372 7  
ハンガーゼロ・ニュース



「コロナ禍での試練や不安は続きますが、折り返し地点に近づいています。一緒に頑張りましょう。」

野菜づくりに励むヤングファーマー P.3

## Contents

応援して下さる皆さんの広場 P.2

モザンビーク活動報告  
ヤングファーマーズパートナーシップ P.3-4

ロングライフが新事業で活動応援 P.5

チャイルドサポーター活動報告  
カンボジア・スパイラー P.6-7

1分間に17人 (内12人が子ども)  
1日に2万5,000人が  
1年間では約1,000万人が  
飢えのために生命を失っています

# 「ささやかでも行動を」

2019年より自販機や募金箱の設置を通してハンガーゼロに協力して下さっている(株)信光社の横浜本社で、米澤社長、平塚さん、山本さん、加藤さんにお話を伺いました。



米澤社長と平塚さん

## Q ハンガーゼロの活動に取り組んだきっかけは

世界食料デー横浜大会実行委員の方と知り合いで、2019年の横浜大会開催にあたり、地元企業として協力の呼びかけをいただいたことから、ハンガーゼロの活動を知りました。2019年9月にちょうど自動販売機の追加設置を検討していたところでしたので、ハンガーゼロ自販機を導入することにしました。その際一緒に届く備蓄用のパン缶と水が、賞味期限が近くなった時点で回収されて支援に使われるということも含めて、素晴らしい取り組みだと感じました。(加藤さん)

もともと地域の環境保全活動や消防団協力事業所としての災害支援など、様々な地域貢献活動をしてきましたので、始めることに抵抗はありませんでした。(米澤社長)

## 設置によって飢餓と貧困に思いを馳せる

### Q 設置によって社内でどんな反応を期待されましたか、また良かった点は

飽食と食品ロスが課題である国に暮らす私たち一人一人が、世界の飢餓の現状を知り、小さくても何か行動を起こせるようになることを期待していました。(加藤さん)

自販機と募金箱の設置によって、世界の飢餓と貧困に思



ロングライフタウン寝屋川公園 フィレンツェの丘



募金箱



加藤さんとハンガーゼロ自動販売機



山本さん

いを馳せることができるようになりました。募金については、あえて担当者が募金箱を持って呼びかけなくても、社員それぞれが自分なりのタイミングで協力してくれています。自販機を通して無理なく一定額の募金ができているということも嬉しいところです。(山本さん)

## 貢献は地域社会へのご恩返し(米澤社長)

### Q どんな思いで取り組んでおられますか

「自分たちで出来る範囲のささやかなことをする」「やりだしたら続ける」「見返りを求めない」の3つを大切にしています。(平塚さん)

当社が74年間続いてきたのは、地域の皆様に支えていただいたおかげです。社会貢献活動は企業のアピールのためではなく、「売り手よし、買い手よし、世間よし」の「三方よし」の精神で、社会へのご恩返しとして取り組んでいます。(米澤社長)

### One voice !! 世界食料デー実行委員会から

信光社さんは「やりだしたら続ける」がポリシーなので、昨年のコロナ禍の中でも変わらずに協力して下さり、とても励まされました。今年の世界食料デー横浜大会はオンライン・オフラインともに、楽しい企画を準備しています。お楽しみに!



### 【株式会社 信光社】

1947年設立、横浜市栄区に所在。社員数170名。サファイア製品、LED用サファイア基板、光デバイス製品などを製造・販売。サファイア原石生産日本一、ルチル原石生産世界一を誇る。

## 私たちロングライフグループは、ハンガーゼロの活動を応援しています。

ロングライフは1986年の創業よりケアサービスひと筋。全国に展開しています。

Health & Natural Beauty  
**ロングライフグループ** Resort & LongLife  
 0120-550-294  
 受付時間 9:00~18:00 年中無休  
 大阪本社 / 〒530-0015 大阪市北区中崎西2-4-12 梅田センタービル25階 東京本社 / 〒100-0004 東京都千代田区大手町1-6-1 大手町ビル9階  
 ロングライフグループ拠点: 北海道/埼玉/東京/神奈川/千葉/静岡/愛知/大阪/兵庫/京都/大分/沖縄/中国(青島)/韓国/インドネシア(ジャカルタ)

# Young Farmer's Partnership

ハンガーゼロは、2020年4月より東アフリカのモザンビーク・ソファラ州ゴロンゴザ地区で現地パートナーのハンズ・オブ・ラブ(モザンビーク)を通して若い農夫を支援する「Young Farmer's Partnership」に取り組んでいます。活動当初、コロナ感染対策での外出禁止やトラクターが確保できないなど、農地の準備(開墾)に困難もありましたが力を合わせて乗り切りました。努力のかいもあってこの5月には農業実習3期目を迎え、参加した若い農夫たちが手応えを感じるようになってきています。現地からの報告をまとめました。

## 収穫物を販売して収入を体験

### 【活動の経過】

- ① 現地にセンター事務所を設置、常駐スタッフ2名を配置
- ② 地域リーダーと交渉し農地用の土地を確保し開墾
- ③ 地域から参加する農夫を募集(最初に10名が参加)
- ④ 野菜づくりの専門家の指導による農業実践
- ⑤ 野菜の収穫と販売

この取り組みには当機構のモザンビーク元駐在員ローレンス綾子さん(旧姓・小倉)もスタッフとして参加、活動全般をフォローする役割を担っており、現在はコロナ禍でできませんが、日本から現地に足を運ぶこともあります。



### 【活動の目標】

農業技術を学んだ若い農夫たちの成功例が増えて、持続可能な農業が地域全体へと普及していくこと。

### 第一期目 2020年4月～

#### [植えた作物]

- ・ トマト、玉ねぎ、紫玉ねぎ、キャベツ、レタス

#### [学習内容]

- ・ コンポストの作り方
- ・ スペースの実践(野菜の間隔を開けて植える方法)
- ・ 枯葉などを使用するマルチング(“神の毛布”)とその効果について
- ・ 植え替えの方法

### 〈結果〉

収穫物は地域の市場で販売し、参加した若者たちは収入を体験しました。中には「これだけのお金を得るのにこんなに働かなきゃいけないんだ」と気づき、早々に諦めて離脱した若者もいました。




参加農夫と農業指導員

### [その他の活動]

- ・ 侵食防止のために小川沿いにバナナの木を植栽
- ・ ユーカリで塀を作るため、ユーカリの搬送と皮剥き

(4頁に続く)




聖書の学び会

イエス・キリスト エクレスΙΑ

## よろこび研究会

**真理はあなたを自由にします。** ヨハネ福音書8章32節

— この御言葉を中心として「よろこび」を学んでいます —



真理のことで“よろこび”をお届けしています。


- ① 聖書、みことばをわかりやすく
- ② 日常生活に適用できるように
- ③ より実践的に

毎月新たな聖書箇所を読み、お一人お一人の状況に照らしてメッセージをしていきます。初めての方でも大丈夫です。共に学び、よろこびを探求しましょう。

メッセンジャー：奥田英男 【参加自由・無料・席上献金有り】

<http://yorokobi-lab.com/>

✉ [Info@yorokobi-lab.com](mailto:Info@yorokobi-lab.com) 042(553)0511 (オクダ建設内)



※「協賛広告」を募集しています。ウェブにも掲載。詳しくは東京事務所・近藤まで

## 第二期目 2020年10月～

### [植えた作物]

玉ねぎ、ピーマン、とうもろこし、ピーナッツなど

### [学習内容]

- ・水やりを減らして効果的に植えるための新しい<sup>うね</sup>畝作り
- ・コンパニオンプランツ（一緒に植えることで、お互いが受益する相性の良い植物）
- ・コンポストの作り方
- ・スペーシングの実践
- ・マルチングとその効果について

### <結果>

今回は「コンパニオンプランツ（混植）」としてピーナッツ（窒素を土に放つ）と、とうもろこし（窒素を大量に消費



する)と一緒に植えてみたところ、どちらも豊作で、ピーナッツは良い収入源にもなりました。玉ねぎは収穫前に半分近くも盗まれたので、まだ小ぶりでしたが早めの収穫となりました。畑が道沿いにあるので、窃盗対策は今後の課題です。

### [その他]

- ・侵食防止のために小川沿いに植えていたバナナの木が雨季の雨でほぼ流出
- ・ユーカリで塀を作るため、ユーカリの皮むきと防虫剤のペイント

## 第三期目 2021年5月～

### [種から育てた野菜を使っての植え替え]

玉ねぎ、レタス、キャベツ、ピーマン、にんじん、トマト、ピーツ

## 地域リーダー対象に説明会

### [ワークショップ開催]

今年5月1日に今までの働きを地域リーダーに説明して理解してもらい、新たな若者たちの参加を呼びかけるワークショップを開催。（それ以降、毎月開催）

内容は以下の通り

- 1) 新しい栽培法とその経験の分かち合い
- 2) 栄養価の高い新しい食材の紹介と試食会
- 3) 薬用食物の紹介とその使い方
- 4) 栄養と免疫について

### [今後の展望と課題]

若者たちへの研修と同時に、まだまだ未開発な畑を発展させていかなければなりません。ユーカリの塀作り、見張り人用の小屋が目下の予定で、それが終われば鶏小屋に着手していきます。まだ初年ですので、土づくりをしながら試行錯誤を続けています。収入を上げるために時期をずらしての栽培や、あまり市場に出回っていない作物の栽培（ピーツなど）を試験的に行っていきます。

2022年からは、そこで学んだ経験を用いて、来年開校する学校で校庭を使って子どもたちにも教える予定です。

### 課題は農業を軽視する若者の意識改革

現代の若者は農業を軽視する傾向が強くなり、学校などを口実になかなか親の畑を手伝いません。「自分は仕事を見つけたら農業なんて」という価値観が一般的に浸透しています。一方、仕事をしつつ農作物も育て、自分が食べる物以外にも収入のために様々な野菜を試している若者も少なからずいます。ゴロンゴザのような田舎では就職先は非常に限られており、苦勞を重ねて高校3年まで卒業したものの、仕事に就けず行き詰まり、がっかりしている若者が多くいます。繁栄する農業を学ぶことはもちろんのこと、若者たちが自ら切り開く生き方を実践する表現の一つとして、彼らがこのプログラムからヒントを得るきっかけになればと願っています。

ハンガーゼロ・サポーターになって、この活動の応援を  
お願いいたします。最終頁やウェブから支援ができます。

備蓄をしながら社会貢献



世界にパンを届けよう

救缶鳥  
Kyu-Can-Cho

皆様から回収された救缶鳥は  
各地に飛んでいきました！



食料が不足している、  
国内外の豪雨・地震等の災害被災地や、  
海外の飢餓地域等へ送られました。



おいしさとお届けします。

株式会社パン・アキモト

パンの缶詰  
since 1995

〒329-3147

栃木県那須塩原市東小屋295-4

TEL 0287-65-3351

パン・アキモト

検索



ハンガーゼロの応援企業であり、ケア一筋36年を誇るロングライフグループが、この6月に老化を防ぐサプリメントの販売をスタート。その売り上げから P.3、4で報告しましたモザンビークでのヤングファーマーズパートナーシップを応援して下さることになりました。そこでロングライフグループの桜井ひろみ社長にお話を伺いました。



## ロングライフがサプリメント事業でモザンビーク応援

**Q** 御社が今期の目標として「共有価値の創造」(CSV)を掲げられたのは

一言でいうならば「本気で社会を変える企業」にしているというものです。これから企業に求められることは、社会の課題やニーズに本気で取り組むことだと思います。それがお客さまからの信頼となり、社員の心に響く使命感にもつながるものと考えています。CSVの目標は、ロングライフと地域やお客さま、社員、株主様という立場の違うもの同士が共感しあうことで新しいものが生みだされ、社会と共に繁栄していくことです。「社会の課題」に対して誰かがやるだろうではなく、自ら手をあげる企業でありたいと思います。

**Q** 「NMN サプリ」事業についてお聞かせください

発売を開始しました NMN サプリは、健康と長寿に貢献したいという当社の願いから昨年スタートした独自メソッド「ヘルス&ナチュラルビューティ」(より健康により美しく)をさらに進めるものとしてフード部門の医師の監修で独自に開発したサプリメントです。NMN(ニコチンアミドモノクレオチド)は、老化を抑える物質ですが加齢とともに減少するので、食事では補えない分※をサプリで摂取することができます。本商品の特長としては、NMNの体内への浸透率を大きく高めたことです。

(※) LONGLIFE NMN 1 粒に含まれる NMN 量はブロッコリー 3200 房に相当(同社のパンフレットから引用)

販売にあたり「健康維持のために自分に投資した人が、社会の課題に共感して少しでもその課題に応えるの

に役立てる機会になれば」との願いを込めて、売り上げからハンガーゼロの活動(モザンビークのヤングファーマーズ支援)に協力させていただくことにしました。サプリメントのパンフレットにハンガーゼロへの支援についても記載していますが、飢餓に苦しむ(国連・世界飢餓指数 118カ国中 108位)モザンビークでの農業の成熟のために若い農夫を



応援することは、社会の課題にチャレンジしようとする当社の願いにも通じます。この事業を推進していくにあたり「ニュービジネスグループ」という新部門も立ち上げました。僅かでも社会の課題に応えていければと願っています。

### 協働する中で企業活動にも大きなヒント

**Q** ハンガーゼロの活動に参加することへの期待は

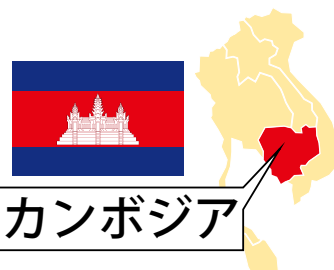
南米ウルグアイの世界一貧しい大統領といわれたホセ・ムヒカの記録映画で「私たちは発展するために生まれてきたわけではありません。幸せになるためにこの地球にやってきたのです」「発展は幸福を阻害するものであってはいけません」という言葉がいつも強く心に響いています。

そうした幸福な社会の実現のために、当社がハンガーゼロの活動に参加させていただくことは、企業として取り組んでいるSGDsを達成することにもなると考えています。ハンガーゼロとの協働の中で、新しいものがきっと生み出され、私たちの企業の方向性にも大きなヒントを与えてくださるものと期待しております。

「NMN サプリメント」については、ロングライフの通販サイト <https://www.ll-m.jp> をご覧ください。スマホからQRコードでもアクセスできます。



「LONGLIFE NMN」開発メンバー。薬剤師、看護師、ニュービジネスグループ、広報チームなどグループ各社からメンバーが集結し、商品化を実現。



FH= 国際飢餓対策機構

# コロナに立ち向かうことで地域や家族の絆が深められました

**FH** カンボジアは、最も貧しい地域で人々との関係づくりを大切にしながら、地域が主体となって貧困を克服できるように活動を続けています。2020年4月～9月の活動は、新型コロナウイルスの影響を受けましたが、特にコロナ感染防止のための活動を重点的に行うことができました。

**育成** FH は地域リーダーの指導能力と技能を強化することで、地域の多様な問題を解決できるように訓練をしています。また地域にすでにある資源を用いて人々が希望をもつように願っています。リーダー及び地域ボランティアたちは、コロナの知識、感染防止、治療について学びました。村落開発委員 52人も、電話、家庭訪問、スピーカーを通じて計 965人にコロナについての情報を伝達しました。

## 最貧世帯に食料配給

**生計** 参加メンバーの家族全員が栄養のある食事を十分に摂れるようになることを目指しています。農業と畜産の両方の収入で、家族の必要や子どもたちの教育費用も賄うことができるようになります。

### 【貯蓄グループ】

コロナ禍の中にあっても、メンバー同士が助け合いながら活動を継続させることができました。現在、14の貯蓄グループが活発に活動をしています。FH はコロナの影響

を受けた家族の中で、政府の支援を受けることができなかった最貧世帯 28世帯 (130人)に食料を配給しました。また彼らが自宅で野菜を栽培するように励まし、堆肥を使った農業の技術を伝えました。

### 【農業部門】

今回は 79人が農業技術のトレーニングを受けました。習得した技術は、コロナ渦で家族の食料を供給するのに役立ちました。コロナがもたらしたプラスの影響があるとすれば、それは家族が家庭菜園や動物の飼育を子どもたちと一緒にすることができて家族の絆が深められたことです。

## 簡易手洗い場を 14カ所設置

**保健** 7つの保健推進ボランティアのグループが、地域の人々、とりわけ子どもたちの健康改善のために活動をしています。63人の母親ボランティアが栄養やその他の健康習慣についての訓練を受け、52人の地域メンバーが水、保健衛生について学ぶことができました。地域の子どもクラブや集会所には、簡易手洗い場が 14カ所設置されて、715人の子どもや若者たちが正しい手の洗い方について学び、参加者に石鹸が渡されました。また地元関係者や地域の保健センターにはマスクと消毒用アルコール、6つの地域の政府機関には 300リットルのアルコールと 30箱のフェイスマスクが提供されました。



## コロナ感染から守る「緊急救援募金」に応援をお願いします

募金は、郵便振替又はウェブサイトからクレジットカード決済が利用できます。  
ウェブサイト <https://www.jifh.org> ※ハンガーゼロで検索又は右 QR コードから  
郵便振替 00170-9-68590 日本国際飢餓対策機構 ※記入欄に「緊急救援募金」と明記  
募金集計: 2021年5月現在で約1,033万円、皆さまの応援を心より感謝いたします。



スマホから募金ページに

## 教育

地元の指導者、保護者、そして教師たちとの協力のもとに行われる FH カンボジアの活動を通して、子どもたちは、リーダーシップ能力の向上、貯蓄、小規模ビジネスについての勉強、識字や計算能力、日常起こる問題の対処方法(ライフスキル)について学んでいます。

現在6つの地域の7つの子どもクラブ(写真⑥)で学習活動が行われています。コロナのために一時中断されましたが、FH スタッフは地元の指導者やボランティアとともに、学習の再開に向けて準備をしています。

学校のクラスがオンラインになったことで子どもと若者たちがストレスを受けていたため、保護者向けに、ストレス軽減の方法、コロナについて



の一般知識、子どもとの時間の過ごし方、遊び時間の持ち方などについて訓練会を実施しました。またウィルスの蔓延防止方法について学んだ30人の若者たちが、近所の子どもたちや家族とそれを分かち合いました。



## サポートチャイルド ダビット・バイさんと家族 地域開発は役立つと理解ができました

家族の  
Story  
ストーリー

ダビットさんはチャイルドサポーターの支援を受けています。彼女は5人家族の長女で両親は農業のかたわら販売用のカエルを飼育しています。彼女の父親(写真)から話を聞きました。

### ● 以前の生活について

私は2000年に結婚し、生活がとても苦しかったのでタイで建設労働者として5年間働きました。2回ほど給料をだま騙し取られ、家に送金もできず、国に帰るお金もなくなりましたが両親や兄弟がお金を集めて送ってくれて、なんとか家に帰れました。タイでは違法なブローカーに騙されて働いていたため常に恐怖があり、捕まらないように隠れる日々もありました。貧しさのためにやむを得ず幼い子どもたちを置いてタイに行ったのですが、涙を流しながら眠ることもありました。

### ● この活動に関わったきっかけは

村に戻った時、義理の兄弟がFHカンボジアの農業活動に参加していて野菜を植え、鶏やカエルを育てていました。FHのスタッフが私にまずカエルを育てることを勧めたので、村の貯蓄グループから借りた資金でカエルを育てて利益を少しずつ出し、借りた資金を返済することができました。またカエルの繁殖と孵化に成功して、販売できるようになりました。

### ● 地域と生活の変化について

村の人々は以前、地域開発の活動は自分たちにとって役に立たないものと思っていたので、活動に参加していませんでした。FHが村のリーダーとミーティングを頻繁に開いて説明してくれたので、活動について理解できるようになり、参加することで私たちの生活や家族、そして地域全体を変



えることができることがわかりました。トイレを使うことや、野菜を育てたり動物を飼育したりなど様々なことを私が理解できるように教えてくれました。私はすべての事に満足しています。近所の人たちや地域とよりよい関係をこれからも築いていきたいと思います。

チャイルドサポーターよりお知らせ

## 短期チャイルドサポーター募集中

詳しくはこちら



このような方におすすめです。



「1～3年くらいの短い期間で支援してみたい！」



「チャイルドサポーターに興味がある！しかし、支援を続けていけるか自信がない…」



「今チャイルドサポーターをしているが、もう一人サポートしてみたい。」



「僕と同じ世代の15～17歳くらいの子を支援したい。」



ハンガーゼロ(日本国際飢餓対策機構)は、イエス・キリストの精神に基づいて活動する非営利の民間海外協力団体(NGO)です。1981年に誕生して以来、世界の貧困・飢餓問題の解決のために、自立開発協力、教育支援、緊急援助、海外スタッフ派遣、飢餓啓蒙を行っています。現在は、国際飢餓対策機構連合(Food for the Hungry International Federation)の一員として、18ヵ国60のパートナー団体と協力し、アジア、アフリカ、中南米の開発途上国で、「こころからだの飢餓」に応える活動をしています。

## 人気の紅茶に新製品!

南インド・ケララ州で生産

香り豊かな紅茶です。ストレートでもミルクティーでもおいしいですよ。ぜひお試しください。

①リーフティー 70g

②ティーバッグ 2g×20包

2袋で、送料込み1,500円。

※①②の組み合わせは自由。



いずれか1袋の場合は、送料込み1,000円でお届けします。

3袋以上お求めの場合の送料については、申し込み時にご確認ください。



【お支払い】後払い

お申し込み: (株)キングダムビジネス スマートフォンは上記QRコードから 電話注文: 06-6755-4877

FAX注文: 06-6755-4888

## ジェロム駐在員がコンゴへ

ハンガーゼロはジェロム・カセバ駐在員を活動地のコンゴ民主共和国に派遣しました。現地ではパートナーのハンズ・オブ・ラブ・コンゴの活動状況やコロナ禍での対応などについて確認します。なお7月上旬には日本に戻ります。現地の活動状況は、今年の世界食料デー大会などで報告します。

## ハンズ・オブ・ラブ・フィリピン

### WEB フィリピン活動報告会

7月24日(土) / 25日(日)

(両日共内容は同じ)

報告者: 酒井保&慶子スタッフ

時間: 夜7:30~9:00pm

参加: 無料

オンラインツール: Zoom

内容: 市民団体(NGO、NPO)と国の開発支援

フィリピンは、地方分権化がすすんでいて地方主導の国づくりをしています。その中で、ハンズ・オブ・ラブ・フィリピン(HOLPFI)はどのように支援活動を行っているかを紹介します。



参加申込QR

申し込み: QRコード又は電話から 電話 03(3518)0781 担当・中村

●8月28日(土) / 29日(日) (同)

内容: 持続可能な開発と人財育成 ※開催概要は上記と同じ、申し込みもできます。どなたでも参加可能。

## 各種手続きにお時間を いただいております

当機構各事務所ではコロナウィルスの感染対策として、一部テレワークを継続しています。支援者様への電話対応・領収証の発行・支援申し込み手続きなどで、通常よりお時間をいただいております。ご理解のほどお願い申し上げます。急ぎのご用件は、お電話でご相談ください。(事務局)

## ハンガーゼロ自販機で国際協力

飲み物を買うと1本につき10円がハンガーゼロに寄付されます。また防災対応の自販機を設置していただくと、緊急災害時の備蓄



用としてパンの缶詰、水各96個が無償で提供されます。現在、全国で109台が稼働中です。

【2019-2020年度募金実績】 3,256,838円

設置のご相談は東京・大阪事務所までどうぞ。

## サポーターお申込み欄 FAX072-920-2155

氏名			
(TEL)			
住所	〒		
申込日	年	月	日 NL 372号

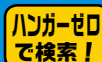
<input checked="" type="checkbox"/>	下記から希望されるものをお申し込みください
<input type="checkbox"/>	ハンガーゼロサポーターとして協力します。 ①毎月( )円 □ (1円 1,000円) ②一時募金として 円協力します。
<input type="checkbox"/>	継続募金(JIFH サポーター)として協力します。 毎月( )円 □ (1円 500円)
<input type="checkbox"/>	チャイルドサポーター(子ども1人毎月4,000円)の説明書(申込書)を送ってください。
<input type="checkbox"/>	郵便自動引落とし申込書を送って下さい。
<input type="checkbox"/>	その他の銀行自動引落とし申込書を送って下さい。

上の申込書をコピーして必要事項を記入の上、FAXまたは郵送にて大阪事務所までお送りください。届きましたら確認書類等を送らせていただきます。お電話やウェブサイトでも申し込みできます。

Hunger Zero サポーター 現在...5050口

■発行者 清家弘久

■発行所 一般財団法人 日本国際飢餓対策機構



Webサイトアドレス <http://www.hungerzero.jp>

eメールアドレス [general@jifh.org](mailto:general@jifh.org)

フェイスブック facebookでハンガーゼロで検索

■募金方法 ※各種方法で随時受付中、詳しくは電話やウェブサイト  
①郵便振替 00170-9-68590 一般財団法人日本国際飢餓対策機構  
②他の金融機関からの自動振替③クレジット、デジタルコンビニ



大阪 〒581-0032 八尾市弓削町3-74-1  
TEL(072)920-2225 FAX(072)920-2155  
東京 〒101-0062 千代田区神田駿河台2-1 OCCビル517号室  
TEL(03)3518-0781 FAX(03)3518-0782  
愛知 〒460-0004 名古屋市中区新栄町2-3 YWCAビル6F  
TEL(052)265-7101 FAX(052)265-7132  
沖縄 〒900-0033 那覇市久米2-25-8 メソソク米202号  
TEL(098)943-9215 FAX(098)943-9216  
USA Ainote International c/o Mr. Takehiko Fujikawa  
8010 Phaeton Dr. Oakland, CA94605  
TEL(510)568-4939 FAX(510)293-0940



Hunger Zero



JIFH



チャイルドサポーター

●Tポイントを利用して「南スーダン・マブイ小学校給食支援」ができます。現在までに1,154,575ポイント(円)のご協力(11,912件)がありました。Tポイント募金で検索。  
●「つながる募金」はスマートフォンからご利用できます。募金は、ソフトバンクモバイル(株)経由となります。詳しくはウェブサイトをご覧ください。